

## ○第7回部会開催以降委員から寄せられた意見

### 1 具体的施策に関する意見

#### ●基本フレームワークに関する意見

- ・製品の設計・生産，流通及び販売段階の各段階における施策の分類及び市民に分かりやすく廃棄物発生抑制とその効果が見える指標の開発

#### ●設計・生産段階の取組に関する意見

- ・エコデザイン，伝統産業，住宅の長寿命化を，環境モデル都市構想のベクトルとも合っているので，強く打ち出しても良いのではないか。
- ・廃棄物発生抑制手法に関する情報提供（3Rの具体的な対策事例集作成など）
- ・エコデザイン（環境配慮型製品/環境貢献型製品設計）の促進の啓発事業（セミナーなど）

#### ●流通・販売段階の取組に関する意見

- ・京のエコデザインフォーラム：エコビジネス（流通システム）についての具体策を，既存の流通システム関連企業等で検討する場の創設
- ・エコラベル制定：廃棄物発生抑制を考慮した商品に対するエコラベルを制定し，アピールしてもらう。簡易包装商品，無包装商品など
- ・事業者の包装削減計画策定制度の創設：レジ袋に限定しない事業者による包装削減計画策定の制度を創設する。
- ・無料で提供されている物品や包装の有料化（レジ袋有料化の推進など）
- ・事業者団体や販売事業者団体と協議し，廃棄物発生抑制情報の提供や環境負荷が小さい製品の利用促進について協定する。
- ・公共団体の調達において，廃棄物発生抑制に関する基準を導入する。

#### ●市民生活・事業活動の転換に関する意見

- ・京の3Rスタンダード：宿泊業版，飲食店版，商店街版，物づくり製造業版などの環境マネジメントシステムの創設
- ・京の暮らし方のすすめ：長寿命住宅，町屋等での生活モデルの提唱，推奨する。
- ・イベントグリーン要綱の策定：現行計画のごみ戦略21で提案されているが具体化されていない。祭りなどを開催する際に，ごみ減量，環境対策に配慮すべき具体的な要綱を策定する。
- ・利用者に経済的インセンティブの働くリユース容器などの利用システムの構築  
：リユース容器の利用やクリーニング店でハンガーの回収等を行う場合，利用者に経済的インセンティブの働く販売システムを構築する。
- ・ごみ減量を促すための一般市民へのキャンペーン
- ・修理業者やリサイクルセンターのネットワーク化や優良事業者認定制度の創設を通して，修理・再利用を促進する。
- ・環境マネジメントシステムの構築促進（ISO14001，KES，エコアクション21など）

### ●事業系ごみ減量に関する意見

- ・大規模事業所に満たない多量廃棄物の排出事業者への減量対策：スーパーチェーン、ファーストフードなど大規模事業所に満たないが、多量の廃棄物を排出する事業者への減量指導を行う。
- ・中小事業者を対象とした自覚を促すためのキャンペーン、情報提供、財政的支援（中小事業者団体との連携）

### ●生ごみ堆肥化に関する意見

- ・現在、京都市ごみ減量推進会議が取り組んでいるエコ商店街の応用展開をする。例えば伏見地区で商店街×酒倉×旅館×小学校が連携を組んで、生ごみ分別回収したものを堆肥化して、その堆肥で育てた野菜で食育を行うことで、地産地消の環境教育に取り組むなど
- ・生ごみの堆肥化については講習会を開くなど、管理手法の徹底が必要

### ●地域特性の活用に関する意見

- ・地域ごとに事業者と消費者でパネルを立ち上げて、自主的合意に基づく廃棄物発生抑制計画を策定

### ●次世代の循環システム像の検討体制創りに関する意見

- ・組成分析維持をはじめ、トップランナーの研究調査態勢
- ・海外への技術提供・研修などによる次世代育成態勢
- ・循環計画化のための廃棄物情報や関連情報の蓄積体制

### ●組織間の情報共有に関する意見

- ・2Rを展開している組織ごとの取組を発表するなどの京都の2R推進大会の開催

## 2 指標に関する意見

- ・市が政策的に排出抑制したい品目と市民の関心が高い品目を廃棄物の発生抑制のパフォーマンス指標として設定する
- ・中期の目標値を設定し、指標が単年度で未達成の場合は、是正措置を講じられPDCAサイクルが回る仕組みにすると、より効果的になる。
- ・品目、地域別のごみ量削減目標の設定